

美術

教科書検討から見た
 観点別・編集の特色と
 掲載作品一覧

資料

1 ページ数 (A4 ワイド判)

	1年	2・3年	合計
(1) 絵に表す活動のページ数	8	16	24
(2) 彫刻に表す活動のページ数	6	6	12
(3) デザインに表す活動のページ数	6	16	22
(4) 工芸に表す活動のページ数	6	12	18
(5) 鑑賞活動のページ数	25	61	86
(6) 材料や用具の扱いなどの資料ページ数	13	10	23
(7) 色彩に関する内容のページ数	3	2	5
(8) もくじ	1	1	2
総ページ数	68	124	192
※備考	※(5)の鑑賞には、表紙(表・裏)、「発見と創造」(p.2-3)、「図画工作から美術へ」(p.4)、「学びの地図」(p.6-7)、各扉のページを含める。	※(5)の鑑賞には、表紙(表・裏)、「探求と継承」(p.2-4)、「暮らしに生きる美術」(p.6-7)、「美術史年表」(p.118~122)、「未来に向かって」(p.123)、各扉のページを含める。	

2 題材数

	1年	2・3年	合計
(1) 絵に表す活動の題材数	4	6	10
(2) 彫刻に表す活動の題材数	2	3	5
(3) デザインに表す活動の題材数	3	8	11
(4) 工芸に表す活動の題材数	3	4	7
(5) 鑑賞活動の題材数	11	27	38
(6) 材料や用具の扱いに関する内容の題材数	8	8	16
(7) 色彩に関する内容の題材数	1	1	2
総題材数	32	57	89
※備考	※(5)の鑑賞には、表紙(表・裏)、「発見と創造」(p.2-3)、「図画工作から美術へ」(p.4)、「学びの地図」(p.6-7)、各扉のページを含める。	※(5)の鑑賞には、表紙(表・裏)、「探求と継承」(p.2-4)、「暮らしに生きる美術」(p.6-7)、「美術史年表」(p.118~122)、「未来に向かって」(p.123)、各扉のページを含める。	

3 紙面構成の扱い

	1年	2・3年	合計
(1) 1ページ展開の題材数	5	6	11
(2) 2ページ展開の題材数	22	42	64
(3) 3ページ展開の題材数	2	3	5
(4) 4ページ展開の題材数	1	3	4
(5) 5ページ展開の題材数	0	1	1
(6) 6ページ展開の題材数	1	1	2

4 作品数など

	1年	2・3年	合計
(1) 生徒作品数	64	84	148
(2) 作家作品数	ア. 日本人作家作品数	132	187
	イ. 外国人作家作品数	96	112
(3) その他の作品数(文化財・民芸品・建造物など)	39	121	160
(4) 基礎的な表現技法や知識などの写真や図版	ア. 写真	134	278
	イ. 図版	51	128
(5) 表現や鑑賞活動の情景写真数	94	99	193
(6) 発想・構想の方法や学習の進め方などの情報	9	13	22
(7) 作家作品の作家の言葉	13	15	28
(8) 生徒作品の作者の言葉	16	31	47
(9) 美術の用語	11	12	23
(10) 2分の1ページ以上にわたる大きさの図版数	23	40	63
(11) 安全についての記載箇所数	5	9	14
(12) 国宝や重要文化財の作品数	国宝	33	33
	重要文化財	17	19
(13) QRコードの掲載数	25	50	75



本冊子は、「教科書発行者行動規範」に則って、配布を許可されているものです。

開隆堂

教科書検討から見た観点別・編集の特色

1. 教育基本法（第2条）との関連

検討の観点	内容の特色と具体的なページの例
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと	<p>第1号／教科書の全題材及び特設のページを通して美術の教科目標に迫ることで、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができると考えています。また、資料ページを「学びの資料」として充実させ、各題材での学びに生かせるように構成していますので、幅広い生きた知識と教養を身につけることにつながります。</p> <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと	<p>第2号／自分とは何か、自分らしさとは何かということを造形的に表そうと追求することは自己肯定感を高め、個人の価値尊重につながると考えて題材化しました。また、造形活動によって自分たちの生活を豊かにすることのすばらしさを伝えたいと考え、生活の中で使うものや遊ぶものを制作する題材を掲載するとともに、将来を思い描くことにつながる内容を豊富に掲載しています。</p> <p>1年 p.2・3 / p.4 / p.6・7 / p.8・9 / p.22・23 / p.24・29 / p.30・31 / p.32・33 / p.34・35 / p.36・37 / p.38・39 / p.40・41 / p.42・43 / p.46・47 / p.48・49 / p.50・51 / p.60</p> <p>2・3年 p.8・9 / p.10・13 / p.18・19 / p.20・21 / p.24・25 / p.26・27 / p.28・29 / p.30・31 / p.66・67 / p.68・69 / p.74・75 / p.106 / p.107 / p.108・109 / p.110・111 / p.112 / p.123</p>
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと	<p>第3号／友達と協力して表現する活動では、互いの考えを主張したり調整したりすることが必要となることから形、色彩、言葉などを通して互いのよさを感じ合える題材づくりに努力しました。互いの心を通わせる活動を通して相手への思いやりの心をふくらませ、社会の形成に主体的に参画していくことにつながります。</p> <p>1年 p.4 / p.6・7 / p.16・19 / p.24・29 / p.30・31 / p.32・33 / p.34・35 / p.36・37 / p.38・39 / p.40・41 / p.42・43 / p.44・45 / p.46・47 / p.48・49 / p.50・51 / p.56・57 / p.61</p> <p>2・3年 p.6・7 / p.70・71 / p.72・73 / p.76・77 / p.78・79 / p.92・93 / p.104・105 / p.113 / p.114・115</p>
生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと	<p>第4号／自然の草花や風景を描いたり、動物や身近な生き物をつくったりする題材を多く設定しています。自然の事物をモチーフとした表現活動を行うことは、自然のよさを感じ取ることにつながります。また、デザインや工芸の分野では、SDGs (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標) の考え方を扱い、環境に寄与する態度を養えるような題材も設定しています。</p> <p>1年 p.2・3 / p.10・11 / p.12・13 / p.22・23 / p.24・29 / p.30・31 / p.44・45 / p.46・47 / p.48・49 / p.58・59 / p.60 / p.62・64</p> <p>2・3年 p.10・13 / p.32・33 / p.34・35 / p.63・63 / p.64・65 / p.80・81 / p.86・87 / p.96・101 / p.102・103</p>

<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと</p>	<p>第5号／日本及び外国の多くの美術作品を紹介しつつ、日本の伝統文化については大きく取り上げる題材として「日本らしさ①～⑤」を設定し、表現や鑑賞の活動を通して我が国の文化や郷土のよさ、外国の文化などを伝えるよう努力しました。また、伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことにつながると考えて、諸外国の中学生の作品を紹介しています。</p> <p>1年 p.2・3 / p.6・7 / p.8・9 / p.10・11 / p.12・13 / p.14・15 / p.16・19 / p.24・29 / p.30・31 / p.32・33 / p.38・39 / p.44・45 / p.46・47 / p.48・49 / p.50・51 / p.60 / p.62・64 / p.65・67</p> <p>2・3年 p.2・4 / p.14・17 / p.22・23 / p.24・25 / p.26・27 / p.36・37 / p.38・40 / p.41・44 / p.45・47 / p.48・49 / p.50・51 / p.52・53 / p.54・55 / p.56・57 / p.58・59 / p.60・61 / p.82・83 / p.84・85 / p.88・89 / p.90・91 / p.94・95 / p.109 / p.116・117 / p.118・122</p>
--	---

2. 学習指導要領との関連

検討の観点	内容の特色と具体的なページの例
教科の目標を達成する観点	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領における美術科の「目標」である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」について、教科書の全題材を通じて総合的に育成することができます。 題材内容は発達段階に応じて系統的に構築されています。また、学習の目標、内容や方法、培いたい資質や能力が明確に整理され、具体的に紙面に示されています。ワイド判となって、より見やすく魅力的になった紙面には、生活や社会の中の美術や美術文化に関わる内容が幅広く取り上げられ、生徒の自立を促し、美術を通した人間教育の実現が図れるようになっています。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
知識及び技能を育成する観点	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の「学習の目標」に「知識や技能に関する目標」を示すとともに、必要に応じて「美術の用語」を提示するようにしました。また、題材横断的な基礎的な知識や技能については、巻末に「学びの資料」としてわかりやすく系統的に示し、効率よく多様な題材の学習に対応できるように配慮しました。 <p>1年 p.52・52 / p.54・55 / p.56・57 / p.58・59 / p.60・61 / p.62・64 / p.65・67</p> <p>2・3年 p.106 / p.107 / p.108・109 / p.110・111 / p.112 / p.113 / p.114・115 / p.116・117 / p.118・122</p>
思考力、判断力、表現力等を育成する観点	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の「学習の目標」に「発想や構想に関する目標」を示すとともに、学習を深めるための「学習のポイント」や発想・構想の方法、学習の進め方のヒントをマークで示しています。 掲載作品とあわせて、「作者の言葉」や「アイデアスケッチ」などを取り上げることで、作品がどのような発想・構想のもとに生まれたのか、興味・関心をもって学ぶことができるようにしました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>

<p>学びに向かう力、人間性の涵養に関わる観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の「学習の目標」として「造形への関心や意欲に関する目標」を示すとともに、各学年の巻頭には、表紙と連動した導入のページ「発見と創造」「探求と継承」と題する美術の学習の意味や目的を考えるページを提示し、学習への意欲を高めるようにしました。 美術で学習したことをそれぞれの職業に生かしている人たちを扱うことで、社会で役立つ美術の力を知るなど、生徒の意欲が高まる配慮をしました。 各領域には扉のページを設け、「絵や彫刻で学ぶこと」「デザインや工芸で学ぶこと」「鑑賞で学ぶこと」「美術の力を生かして社会とかかわる」をそれぞれ実例とともに解説し、これからの学習に見通しと意義をもたせる構成としました。 <p>1年 p.2・3 / p.34・35 2・3年 p.2・4 / p.6・7 / p.92・93 / p.94・95 / p.96・101 / p.102・103 / p.104・105</p>
<p>表現領域における課題探究的な学習活動の取り扱い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の目標と育つ力を明確にした上で、生徒が自ら課題を見つけ、試行錯誤を繰り返しながら、表現対象や主題、材料や方法などを自己選択、自己決定していくことができるように、生徒作品については、できる限り多様な作品を掲載し、それぞれの考え方を尊重することで、主体性や個性、創造性を培う意欲づけとなるようにしました。また、QRコードからは、WEB上のコンテンツとして教科書に掲載した以外の参考作品例を見ることができ、生徒の探求的な学習活動に応えられるようになっていきます。 各領域の扉ページで学習の意味を理解してから表現活動に取り組むことで、自ら主題を見つけ、自分なりの表し方を工夫する学習活動が可能なお内容となっています。 巻末に設けた「学びの資料」を必要に応じて確認・参照しながら、生徒自らが表したいことを実現することができる構成となっています。 <p>1年 p.8・9 / p.32・33 2・3年 p.8・9 / p.62・63</p>
<p>鑑賞領域における課題探究的な学習活動の取り扱い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を通して、多様な作家作品を扱い、表現題材の導入として、また、独立した鑑賞の題材として扱うことができるようになっていきますので、探求的かつ主体的な鑑賞活動が可能です。 作品の細部まで見えるように図版を原寸大で扱ったり、部分を拡大するなどして、探求的な活動ができるようにしました。 折り込みに配した鑑賞のページにおいては、迫力ある作品の図版を大きく扱い、作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める学習活動が可能なお内容となっています。 各題材に掲載されたQRコードからは、教科書に掲載した作家について解説した「ピックアップアーティストファイル」をはじめとするさまざまなWEB上のコンテンツや、作品を所蔵する美術館などへのリンクをたどることで、生徒の探求的な鑑賞活動に応えられるようになっていきます。 <p>1年 p.24・29 / p.30・31 / p.65・67 2・3年 p.18・19 / 36・37 / p.38・40 / p.41・44 / p.45・47 / p.90・91 / p.96・101</p>
<p>豊かな人間性や社会性を育む学習活動の取り扱い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の美術科で培った力を生かして社会で活躍する人たちからのメッセージで構成したページ「暮らしに生きる美術」を設けるとともに、美術が実際に社会で活用されている事例を多く取り上げました。 デザインや工芸の学習では、用途や使用者を想定し、相手のことを考えて構想を練る活動を多く取り入れています。また、鑑賞活動においては自分の思いを語ったり、作品について友達と話し合ったりする学習を扱っています。これらの活動を通して、互いのよさや個性などを認め合い、他人を思いやる心を育み、豊かな人間性や社会性を育む基礎となるよう構成しています。 <p>1年 p.32・33 / p.46・47 / p.48・49 / p.50・51 2・3年 p.6・7 / p.50・51 / p.76・77 / p.80・81 / p.86・87</p>

3. 学習指導上の効果や編成

検討の観点	内容の特色と具体的なページの例
<p>学習の目標と内容及び育てたい力との関連は明確であるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 美術科の授業を通して育てたい力を大きく三つにくくり、「知識及び技能」を「知」、「思考力、判断力、表現力等」を「思」、「学びに向かう力、人間性等の涵養」を「学」、のマークでそれぞれ示しました。美術科で大切にしたいことや育てたい力を「学習の目標」として明示し、学習の目標と内容及び育てたい力との関連を明確にしました。 各題材における学習のポイントを、「学習のポイント」マークとともに具体的に囲みで示しました。それぞれの題材での大切なことが瞬時に理解でき、学びが深まるように工夫しました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
<p>基礎的・基本的事項の扱いは適切であるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本としての幅広い知識と技能を身につけるために、形や色彩などの造形要素、表現技法や材料・用具の知識などを整理し、生徒が活用しやすい資料ページを系統的にまとめ、「学びの資料」として各学年の巻末に設定しました。美術1では16ページ、美術2・3では18ページにわたって設定しています。 各題材で表現のために必要な技法や知識は、確実に習得できるよう、それぞれの題材ページに示しました。 美術で扱う専門用語については、適宜、本文内に「美術の用語」の囲みを設けて解説しています。 <p>1年 p.52・52 / p.54・55 / p.56・57 / p.58・59 / p.60・61 / p.62・64 / p.65・67 2・3年 p.106 / p.107 / p.108・109 / p.110・111 / p.112 / p.113 / p.114・115 / p.116・117 / p.118・122</p>
<p>内容の配列や学年の順序性は適切で工夫されているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育段階の普通教育として、各個人の能力を伸ばすことができるよう生徒の興味・関心を高め、意欲的に学習に取り組める題材の開発に取り組み、発達段階に応じて系統的に配列しました。 小学校図画工作科と中学校美術科の学習の関連に配慮するとともに、中学校美術科の学習の目的や意義を確認する中で、主体的に学習に取り組めるようにしました。例えば、第1学年では小学校図画工作科での学習との関連を考えた題材を提示し、巻頭には「図画工作から美術へ」や「学びの地図」を配置し、学習の質的变化に順応できるよう配慮しました。 <p>1年 p.4 / p.6・7 2・3年 p.92・93 / p.123</p>
<p>内容の分量は適切であるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各題材のページ数は、学習指導要領に示されている年間授業時数をふまえ、見開き2ページの題材を中心に、題材の軽重をつけて4ページの扱いとしたり、大型図版を観音開きで見られる6ページ題材を設けるなど、バランスよく配列しました。その中から年間授業時数に即して、地域や学校の実情に合わせて題材を選択し、柔軟な指導計画が立てられるように配慮しました。 関連して学習する内容が掲載されているページへは、適宜参照して学習が深められるよう「参照」マークを付してページ番号とともに題材名を示しました。 <p>1年 p.16・19 / p.24・29 2・3年 p.10・13 / p.14・17 / p.38・40 / p.41・44 / p.45・57 / p.96・101</p>

<p>生徒の主体的・対話的な学習への工夫がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の主体的な対話活動による活動場面を多く設定しました。話し合い活動を通じて、発想や構想を広げたり、問題を解決したりすることを「学習のポイント」で促します。 ・共同制作や友達と関わりながら進める活動を多く取り上げ、対話が自然と行われる設定を心がけました。 <p>1年 p.24-29 / p.30-31 / p.32-33 / p.40-41 2・3年 p.52-53 / p.54-55 / p.66-67 / p.68-69 / p.70-71 / p.72-73 / p.76-77 / p.78-79 / p.86-87 / p.90-91 / p.94-95 / p.96-101 / p.102-103 / p.104-105</p>
<p>言語活動が充実するような工夫がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術2・3「共に学ぶ美術」など、協働や協力をして活動する題材を多く取り上げ、生徒同士のコミュニケーションや言語活動が深められるようにしました。 ・鑑賞の学習では、作品から感じた自分の思いや考えを伝え合うことを通して、見方や感じ方を広げたり深めたりします。作品とともに「作者の言葉」を多く掲載し、形と色彩、言葉を通じて、コミュニケーション能力を高めていけるように配慮しています。 <p>1年 p.18-19 / p.36-37 / p.56-57 2・3年 p.64-65 / p.70-71 / p.76-77 / p.110-111 / p.114-115</p>
<p>文章表現は適切であるか。表現の工夫はなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名は、内容が豊かにイメージされるように工夫しました。主文は、生徒の言語感覚を大切に、生徒の心に語りかけ、題材内容をイメージさせて意欲的に課題をつかみ取れるように練り上げました。また、個々の作品の解説、作者の言葉などは、作品制作や活動にあたっての発想・構想や材料・技法についての工夫を取り上げることで、教科書に掲載した意図を伝えることを重視しました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
<p>図版・写真等は学習の内容に関連して適切に用いられているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が美術やその作品に親しみを増し、イメージをふくらませたり、技能をより正確に習得できるように、写真やイラストを厳選しました。制作の手順、材料・用具の使い方、技法の手立てなどは読み取りやすい視点から撮影し、鮮明で、かつ意図が明確なものを掲載しました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
<p>文字の書体や大きさは、生徒の発達段階を考慮したものにしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名・主文・作品の解説などの文字は、すべての人に読み取りやすいUD教科書体を含むユニバーサルデザインフォントを採用し、美しさとわかりやすさを両立させる文字の大きさを工夫しました。 ・中学校以降で習う漢字や美術の専門用語については、初出だけではなく全ての登場部分についてふりがなをつける総ルビとしました。学習の入り口でつまづかないように配慮し、また、特別支援の観点としても効果的な表記となっています。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
<p>現代的な話題や課題などを取り上げて、生徒が関心をもって学習に取り組めるような工夫がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、1964年の東京オリンピックにおけるデザインとあわせて取り上げました。 ・造形活動を通して、平和に向けての活動や自然災害からの復興につながるような事例を多く示しました。 ・単にジャポニズムについて学習するだけではなく、「クールジャパン」的な現代の事例とあわせて学習することで生徒の意欲を高めます。 <p>1年 p.20-21 / p.32-33 / p.40-41 2・3年 p.2-4 / p.50-51 / p.64-65 / p.66-67</p>
<p>QRコードやURLの記載によって、学習に効果的なコンテンツの提供がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材にはQRコードを掲載し、インターネットと連携することで、用具の安全な使い方や作り方などの動画、作家について解説した「ピックアップアーティストファイル」をはじめとする鑑賞に役立つ資料、教科書に掲載した作品以外の参考作品例などを見ることができるようになりました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>

4. 配慮事項

検討の観点	内容の特色と具体的なページの例
<p>小学校からの接続やキャリア教育への配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術1では、小学校図画工作科での学習との関連を考えた題材を提示し、巻頭には「図画工作から美術へ」や「学びの地図」を配置し、学習の質的变化に順応できるよう配慮しました。 ・世界的に活躍するデザイナーである佐藤オオキ氏からデザイナーという仕事やアイデアの生み出し方などについて2ページにわたって語っていただきました。生徒が中学校生活をふまえて将来に向けて思いを馳せる内容となっています。 ・美術2・3では、美術の学習で学んだ力を生かして社会で活躍する5名の方からのメッセージで構成した「暮らしに生きる美術」を設け、美術の力を生かして社会とどのように関わるのか、直接美術と関わらない職業に就いたとしても大切となる美術で培ったさまざまな力を紹介しています。 ・また、美術2・3では、まとめとして「美術の力を生かして社会とかわる」という章を設け、12ページにわたって、美術の学習を通して培った力や多様な見方・感じ方を生かして、これからの生き方や未来を考える内容としました。 ・美術2・3の最後のページは「未来に向かって」として、これまでの学習で培った力を携えて未来に向かっていく中学生へのメッセージを作品とともに示しました。 <p>1年 p.4 / p.6-7 / p.34-35 2・3年 p.6-7 / p.92-93 / p.94-95 / p.96-101 / p.102-103 / p.104-105</p>
<p>カリキュラム・マネジメントや他教科との連携についての配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術1の6・7ページには、これから始まる3年間の美術の全体構成を俯瞰し、見直しをもって視覚的にとらえることができる「学びの地図」を提示しました。 ・学習指導要領で、他教科との関連を一層進めることが示されていることをふまえ、各題材の下部には、必要に応じて美術の学習と関連付けて学習することができる他教科をマークで示すとともに、教科名だけではなく、その内容までも示すことで、教科横断的な学習への効果的な手立てとなるように配慮しました。効果的に学習を深めることができる提案を行っています。 <p>1年 p.6-7 / p.12-13 / p.20-21 / p.24-29 / p.30-31 / p.34-35 / p.36-37 / p.38-39 / p.44-45 ほか 2・3年 p.12-15 / p.14-17 / p.18-19 / p.20-21 / p.22-23 / p.24-25 / p.28-29 / p.32-33 ほか</p>
<p>地域性への配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地の多様な事例を積極的に取り上げ、身近な地域の中から生徒や学校の実態に応じて活動できるように配慮しました。 ・美術作品の掲載にあたっては、中学生が実際に鑑賞する機会が得やすいように、できるだけ国内のさまざまな地域の実例等に収蔵されている作品を掲載するようにしました。 <p>1年 p.50-51 / p.65-67 ほか 2・3年 p.54-55 / p.88-89 / p.102-103 ほか</p>
<p>安全・防災教育への配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材における安全について配慮すべき点や用具・道具の安全な使い方には△マークを付し、写真やイラストを用いるなどして具体的に例示しました。 ・美術2・3には題材として「安心と安全のデザイン」を設け、デザインの視点から身近な場所の安全性を考えたり、危険について注意を促したりする活動を行います。事例としては、津波浸水深サイン（大阪市西区）や避難所運営訓練（青森県青森市）などの取り組みを紹介しています。 <p>1年 p.20-21 / p.58-59 / p.65-67 2・3年 p.76-77 / p.80-81 / p.92-93 / p.108-109 / p.110-111 /</p>

<p>環境・共生への配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がさまざまな活動体験や材料体験を深めると同時に、自然を大切にし、環境の保全に寄与するような内容の設定を心がけました。また、自他を認め、協力して共に活動することの大切さを重視する内容の設定にも配慮しました。 美術 2・3 は副題を「探求と継承」とし、名古屋城本丸御殿の復元における木材の使用とともに植林事業を行って自然を持続させる取り組みや、漆の木が育つ里山を守りながら漆器をつくり出す浄法寺塗の取り組みを紹介しています。 SDGs の考え方を紹介したり、リノベーションの事例を通じて考えさせるページを設けたりして、環境や共生について学習を深められる構成となっています。 <p>1年 p.20・21 / p.30・31 / p.65-67 2・3年 p.2-4 / p.62・63 / p.102・103 / p.104・105 / p.114・115</p>
<p>日本の伝統的な文化についての配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の各地に伝わる工芸品を多く扱うとともに、伝統を生かしつつ現代の生活に合わせて使われている事例を多く紹介しました。 「日本らしさ」を鑑賞の中心的課題に据えた題材を 14 ページにわたって設け、絵巻物や浮世絵など日本の文化を系統的に学習することができる構成としました。また、「日本らしさ」⑤ 美術がつなぐ世界と日本」では、古くからの美術文化だけでなく、日本の美術が世界に与えた影響の面からポーカロイドやイギリスの高速鉄道などの現代の事例もあわせて扱い、生徒の興味を引く内容となっています。 国宝、重要文化財にはそれぞれ国宝、重文のマークを付し、数多くの作品を掲載しています。 <p>1年 p.44・45 / p.46・47 / p.48・49 / p.50・51 2・3年 p.p.38-40 / p.41-44 / p.45-47 / p.48・49 / p.50・51 / p.84・85 / p.88-89 / p.90-91 / p.116・117</p>
<p>プログラミング教育への配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> プログラミング教育の必修化に向けて、コンピュータを使用し、活用を図ることが求められています。美術科として、コンピュータやさまざまな ICT 機器を使ってできることを例示しました。 <p>1年 p.16-19 / p.36-37 / p.56-57 2・3年 p.32-33 / p.66-67 / p.68-69 / p.110・111 / p.113</p>
<p>知的財産権や情報モラル教育への配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校現場に広がりを見せているコンピュータやデジタル機器を使った表現の可能性を探るとともに、知的財産権や著作権、情報モラルについても各学年で扱いました。 <p>1年 p.65-67 2・3年 p.110-111</p>
<p>カラーユニバーサルデザインに関する配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの観点から、専門家（一般財団法人 日本色彩研究所）の監修を得て、色覚に多様性のあるすべての生徒に対して、教科書の内容が正しく伝わるように、紙面全体に識別しやすい配色や形状、イラストの配色や写真の配置などを工夫し、支障なく学習できるように編集しました。 色相環の図版についてもカラーユニバーサルデザインの観点から見直し、彩度（色の鮮やかさ）の例示を、これまでの赤系統の色から、誰にでも判別しやすい黄色系統の色を用いることとしました。 <p>1年 p.62-64 ほか全般 2・3年 全般</p>

<p>特別支援教育・インクルーシブ教育に配慮がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上記と同様、教科書の内容が正しく伝わるように、紙面全体に識別しやすい配色や形状、イラストの配色や写真の配置などを工夫し、支障なく学習できるように編集しました。特別支援教育に関する観点から、東京家政大学の半澤嘉博先生、明星大学の明官茂先生に監修していただきました。 本文には誰にでも読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用するとともに、文章表記において、できるだけ単語や文節が途中で改行されないようにして改行位置を工夫し、一目読みしやすいように配慮しました。また、中学校以降で習う漢字や美術の専門用語については、初出だけではなく全てにおいてふりがなをつける総ルビとしました。 作品の図版には、作品名や作家名などのデータとあわせて、図番号を付しました。外国籍児童だけではなく日本人児童にとってもわかりやすく授業の指示を伝えることができます。 用具の使い方などは写真だけではなく、QR コードから見られる WEB コンテンツの動画を参照することで理解が深まります。 教科書バリアフリー法に基づき、弱視の生徒のための拡大教科書を発行します。 学習指導書には、外国籍児童のために用具などをわかりやすく示した絵カードや各題材の学習の目標を7か国語（英語、スペイン語、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語）に翻訳したカードなどを指導者支援コンテンツとして収録します。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
------------------------------------	--

5. 造本や体裁

検討の観点	内容の特色と具体的なページの例
<p>印刷は鮮明で見やすいものであるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 用紙については、見やすさ、印刷適性の観点から、数多くの用紙を使って試験し、特に印刷インキのギラツキを抑えながらも発色の鮮やかな用紙を採用しました。 印刷は、作品のもつ微妙なニュアンスや質感などを忠実に再現するために、最新の印刷技術を駆使し、かつ入念な色校正に努めました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
<p>製本は堅牢で使いやすいものであるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 開いたときの使いやすさと堅牢さを考慮して、糊付け、見返し付きとし、表紙はビニール加工することで、長期間の使用に耐え得る製本としました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
<p>造本上に工夫がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に、生徒の学年・組・氏名などを記入できる部分を設けるとともに、筆記用具で容易に記入でき、にじみなどができないように加工を施しました。 <p>1年 裏表紙 2・3年 裏表紙</p>
<p>環境やアレルギーに配慮した造本がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 印刷インキは植物性インキを使用し、人体の影響が少なく、化学物質に敏感な生徒に対しても、安全面の配慮をしています。写真や図版の鮮明度を保ちつつ、資源保護のために表紙、本文ともすべて再生紙を使用し、環境への配慮をしています。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>
<p>表紙は魅力的なものであるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表紙は、1枚めくった第2ページからの内容とあわせて学習することができる、魅力的な写真を大きく掲載しました。また、各学年の学習内容と教科書の理念に即した副題をつけることで、表紙を見たときから学習が始まる効果が得られます。 <p>1年 表紙 / p.2・3 2・3年 表紙 / p.2-4</p>
<p>レイアウトは見やすく、学習しやすい工夫がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって最も身近な美術書としての位置づけをし、文章・図解・活動写真・作品例などを配置しました。横幅を広げた A4 ワイド版の紙面に、写真をできるだけ大きく掲載し、美しさやたのしさが伝わるようにしました。 <p>1年 全般 2・3年 全般</p>

掲載作品一覧

美術 1		
題材名	作品名等	作者名等
表紙・裏表紙	白文鳥	高村光太郎
発見と創造 p.2-3	白文鳥	高村光太郎
	蝉3	高村光太郎
	鯨	高村光太郎
	柘榴	高村光太郎
	手	高村光太郎
	自画像	高村光太郎
	老猿	高村光雲
学びの地図 p.6-7	旅	峯田義郎
	サグラダ・ファミリア教会	アントニ・ガウディ
絵や彫刻で学ぶこと p.8-9	無題	草間彌生
	大いなる巨大な南瓜 生命は限りもなく、宇宙に燃え上がって行く時	草間彌生
見ることからの発見 p.10-11	ほたるぶくろ	熊谷守一
	素描・エビ	田中一村
	エビと魚	田中一村
心ひかれる風景 p.12-13	山 富士山	片岡球子
写し取る形 p.14-15	はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト	岡部昌生
人の姿・動き p.16-19	ダンス教室	エドガー・ドガ
	14歳の小さな踊り子	エドガー・ドガ
	アーサー AR 47	ロパート・ハイデル
	弓をひくヘラクレス	エミール・アントワーン・ブールデル
よみがえる材料 p.20-21	フランキー	富田菜摘
	宇野のチヌ	淀川テクニック
生命力を感じて p.22-23	チグリス	はしもとみお
	道標・鴉	柳原義達
	小さなナナ・メゾン	ニキ・ド・サンファル
伊藤若冲の世界 p.24-29	動植綵絵 南天雄鶏図	伊藤若冲
	樹花鳥獣図屏風	伊藤若冲
	果蔬涅槃図	伊藤若冲
	伏見人形七布袋図	伊藤若冲
	五百羅漢石仏	伊藤若冲
	鹿苑寺大書院障壁画	伊藤若冲
	葡萄小禽図	伊藤若冲
石燈籠図屏風	伊藤若冲	
私にとって つくること p.30-31	鳳凰	安藤榮作
	アルヴァロとクリスティーナ	アンドリュー・ワイエス
	もどる水	青木野枝
	大きな水しづき	デイヴィッド・ホックニー
デザインや工芸で学ぶこと p.32-33	傘のデザイン	
	山形大学医学部附属病院の案内表示	
	平形めし茶碗	森正洋

題材名	作品名等	作者名等	
あったらいいなを形に p.34-35	コップ	佐藤オオキ	
	cuckoo-clock	佐藤オオキ	
	アイデアスケッチ (cuckoo-clock)	佐藤オオキ	
	contrast ruler	佐藤オオキ	
	アイデアスケッチ (contrast ruler)	佐藤オオキ	
	pyggy-bank	佐藤オオキ	
	アイデアスケッチ (pyggy-bank)	佐藤オオキ	
	thin black lines	佐藤オオキ	
	アイデアスケッチ (thin black lines)	佐藤オオキ	
	形と色彩のメッセージ p.36-37	Interaction of Color XVI-2	ジョセフ・アルパース
	内装用のタイル	ジオ・ポンティ	
模様のデザイン p.38-39	クッション	ルシアン・デイ	
	ポツワナかご		
	かりゆしウェア		
	ティーカップ		
	生地の模様「いちご泥棒」	ウィリアム・モリス	
ロゴマークで印象づける p.40-41	戸越銀座駅ロゴマーク		
	すみだ北斎美術館ロゴマーク		
	富嶽三十六景 山下白雨	葛飾北斎	
	北海道・北東北の縄文遺跡群ロゴマーク		
	東京川ガールプロジェクトロゴマーク		
	お菓子のパッケージ用ロゴタイプ		
	土木展のためのロゴタイプ		
	今治タオル		
	今治タオルのロゴマーク		
	機能と美しさの調和 p.42-43	子どもがはじめて使うはさみ (4組8点)	
キッチンや食卓で使うはさみ			
持ち歩いて使うはさみ			
高い木の枝を切るはさみ			
工事現場で使うはさみ			
持ったまま作業ができるはさみ			
脳外科手術のためのはさみ			
鉄鉄			
紙でつくる p.44-45		360°開く本	大野友資
		雲のポウル	和田恭佑
	デコメガネ	橋本彰一	
	紙衣		
焼き物をつくる p.46-47	うちわ	森田千晶	
	彩陶長方皿	加守田章二	
	nagom	安藤騎虎	
	赤絵羊形水滴	石黒宗磨	
	青釉鉢	ルーシー・リー	

題材名	作品名等	作者名等
木を暮らしに生かす p.48-49	波をイメージした器	山本伸二
	唐津くちの曳山	
祭りの造形 p.50-51	祇園祭の山鉾巡行	
	青森ねぶた祭	
	バリ島の聖獣パロン	
	北青の獅子舞	
	獅子舞	
鉛筆で表す p.52	村娘	岸田劉生
絵の具で表す p.55	よりあい (じゃがいも)	桂ゆき
	ポーラー・レッド	サム・フランシス
文字を活用する p.56-57	モニュメント	
	路面電車の走行レーン表示	
	相撲のぼり	
	寿司屋の湯呑	
	フランス語とアラビア語で記された道路標識	
	マカオの案内表示	
	ワルシャワの案内表示	
	富山県水墨美術館フライヤー	
	駅名標	
	絵文字	栗田稯崇
焼き物の成形 p.60	備前焼	
	砥部焼	
作品を展示する p.61	造形おかさきっ子展	
	子ども造形パラダイス	
	造形さがみ風っ子展	
色を学ぶ、色を知る p.62-64	札幌市の四季	
	大分県立美術館	
美術館を楽しむ p.65-67	秋田県立近代美術館	
	愛知県美術館	
	善と悪の境界はひどく縮れている	ジョコ・アヴィアント
	東京国立近代美術館	
	ジュニア・セルフガイド	
	細見美術館	
	ロスコ・ルーム	
	隠された庭への道	ダニ・カラヴァン
	埼玉県立近代美術館	
	岡山県立美術館	
藤浩志展示ワークショップ	藤浩志	
ターナー・コンテンポラリー		
多治見市モザイクタイルミュージアム		
富山市ガラス美術館		
すみだ北斎美術館		
金沢 21世紀美術館		

美術 2・3		
題材名	作品名等	作者名等
表紙・裏表紙	上洛殿廊下の彫刻欄間	
探求と継承 p.2-4	名古屋城本丸御殿	
	竹林豹虎図	
	雪中梅竹鳥図	
暮らしに生きる美術 p.6-7	中学生の頃につくったペン皿	林家たい平
絵や彫刻で学ぶこと p.8-9	自画像	パブロ・ピカソ
	旅芸人の家族	パブロ・ピカソ
	葉を持つ女	パブロ・ピカソ
	腕を組んですわるサルタンバンク	パブロ・ピカソ
	アヴィニョンの娘たち	パブロ・ピカソ
	光で描かれたケンタウロス	パブロ・ピカソ
風景が語るもの p.10-13	冠水の跡	小堀進
	驟雨	小堀進
	霞ヶ浦	小堀進
	干し草づくり	グラント・ウッド
	ウォール街	横山操
	暗夜光路N市 - I	横尾忠則
	落葉	菱田春草
自分と向き合う p.14-17	自画像 ①	三岸節子
	自画像 ②	三岸節子
	「立てる像」下絵	松本竣介
	ごみ捨て場付近	松本竣介
	立てる像	松本竣介
	猿のいる自画像	フリーダ・カーロ
	自画像	藤田嗣治
	焼いたベーコンのある柔らかな自画像	サルバドール・ダリ
写像球体を持つ手 (球面鏡の自画像)	M.C. エッシャー	
ゴッホと自画像 p.18-19	フェルト帽をかぶった自画像	フィンセント・ファン・ゴッホ
	自画像 ②	フィンセント・ファン・ゴッホ
	自画像 ③	フィンセント・ファン・ゴッホ
	自画像 ④	フィンセント・ファン・ゴッホ
	麦わら帽子をかぶった自画像	フィンセント・ファン・ゴッホ
	画家としての自画像	フィンセント・ファン・ゴッホ
	ボンズ (坊主) としての自画像	フィンセント・ファン・ゴッホ
	耳に包帯をする自画像	フィンセント・ファン・ゴッホ
	自画像 ⑨ (拡大含)	フィンセント・ファン・ゴッホ
想像の世界を表す p.20-21	46億年の記憶	大小島真木
	沈黙の目	マックス・エルンスト

題材名	作品名等	作者名等
水墨画の世界 p.22-23	天橋立図	雪舟等楊
	虎図襖	長沢芦雪
	座禅蛙画賛	仙厓義梵
	猿猴図	狩野山雪
形と色彩が織り なすイメージ p.24-25	天暴星両頭蛇	白髪一雄
	北	ニコラ・ド・スタール
	恐れ知らずの愚か者 3.8 X	フランク・ステラ
	ヌン	モーリス・ルイス
版表現の可能性 p.26-27	鮫レインボー	宮本承司
	本の上の小鳥 静物画	長谷川潔
	≪バラ：四つの花≫	アルフォンス・ミュシャ
この場面、 この場面 p.28-29	追憶 II	山本正道
	偉大なる物語	ジュリアーノ・ヴァンジ
形を 研ぎ澄ませて p.30-31	≪境界≫からV	戸谷成雄
	妙夢	安田侃
	沈黙の花	戸田裕介
	円筒を斜めに通りぬける もう一つの円筒 (スケッチ)	堀内正和
	円筒を斜めに通りぬける もう一つの円筒A	堀内正和
	円筒を斜めに通りぬける もう一つの円筒	堀内正和
場と形の 響き合い p.32-33	クラウド・ゲート	アニッシュ・カプーア
	安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美咲	安田侃
	White Deer (Oshika)	名和晃平
生命感あふれる 表現 p.34-35	醍醐	奥村土牛
	青銅時代	オーギュスト・ロダン
	道標の柵	棟方志功
	緑の檜の葉	ジョージア・オキーフ
	ゴシック聖堂でオルガン 演奏を聞いている踊り子	ジョアン・ミロ
	アダムとイヴ 馬	フェルナンド・ボテロ
鑑賞で学ぶこと p.36-37	記憶の固執	サルバドール・ダリ
物語を伝える 絵巻物の世界 p.38-40	伴大納言絵巻 上巻	
	鳥獣人物戯画 甲巻	
	法然上人絵伝	
	伴大納言絵巻 中巻	
	石山寺縁起絵巻 第二巻	
	信貴山縁起絵巻	
	山崎長者の巻	
	源氏物語絵巻「東屋二」	
源氏物語絵巻「東屋二」 (復元模写)		

題材名	作品名等	作者名等
金の表現、 墨の表現 p.41-44	紅梅図襖	狩野山楽
	大覚寺宸殿 紅梅の間	
	唐獅子図屏風	狩野永徳
	松林図屏風	長谷川等伯
	待庵 黄金の茶室	
琳派の デザイン性 p.45-47	八橋時絵螺鈿硯箱	尾形光琳
	鶴下絵三十六歌仙和歌巻	本阿弥光悦、俵屋宗達
	色絵紅葉文壺	尾形乾山
	白綾地秋草模様小袖 (拡大含)	尾形光琳
	燕子花図屏風	尾形光琳
	風神雷神図屏風	俵屋宗達
浮世絵、 庶民の楽しみ p.48-49	風神雷神図屏風	尾形光琳
	夏秋草図屏風	酒井抱一
	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 (拡大含)	葛飾北斎
	初代市川男女蔵の奴一平	東洲斎写楽
	雪中相合傘	鈴木春信
	国芳もやう正札附現金男 野晒悟助	歌川国芳
美術がつなぐ 世界と日本 p.50-51	当時三美人 富本豊ひな 難波屋きた 高しまひさ	喜多川歌麿
	ノクターン：青と金色ー オールド・バタシー・ブ リッジ	ジェームズ・マクニール・ ホイッスラー
	名所江戸百景 京橋竹がし	歌川広重
	北斎漫画 魚籃観世音	葛飾北斎
	鯉文花器	エミール・ガレ
	クロード・ドビュッシー の交響詩「海」初版表紙	
	初音ミク	
	高速鉄道車両 class800	
	紙のカテドラル	坂茂
	美少女戦士セーラームー ン	武内直子
造形表現の パワー p.52-53	ラスコー洞窟壁画	
	アルタミラ洞窟壁画	
	火焰型土器	
	土偶 縄文のビーナス	
	遮光器土偶	
祈りの造形、 仏像の美 p.54-55	縄文人	岡本太郎
	太陽の塔	岡本太郎
	阿弥陀如来坐像	定朝
	帝釈天半跏像	
	不動明王坐像	
	恵光童子立像	運慶
菩薩半跏像		
千手観音菩薩立像		

題材名	作品名等	作者名等
ルネサンス、 人間の発見 p.56-57	最後の晩餐	レオナルド・ダ・ヴィンチ
	最後の晩餐 [モザイク]	
	死せるキリスト	アンドレア・マンテーニャ
	牧場の聖母	ラファエロ・サンティ
	リビアの巫女のための習作	ミケランジェロ・ブオナローティ
	アテネの学堂	ラファエロ・サンティ
	コンモドゥス帝	
	ブルータス	ミケランジェロ・ブオナローティ
主題を決める ロマン主義 p.58-59	メデューズ号の筏	テオドール・ジェリコー
	雨、蒸気、スピードーグ レート・ウェスタン鉄道	ウィリアム・ターナー
	種をまく人	ジャン＝フランソワ・ミレー
	震にかかった狐	ギュスターヴ・クールベ
光をとらえる 印象派 p.60-61	ムーラン・ド・ラ・ギャ レットの舞踏会	オーギュスト・ルノワール
	ルーアン大聖堂： 扉口、曇天	クロード・モネ
	ルーアン大聖堂	クロード・モネ
	ルーアン大聖堂：西扉口	クロード・モネ
	すみれの花束をつけたバ ルト・モリゾ	エドワール・マネ
	ピアノを弾く若い男	ギュスターヴ・カイユ ボット
	サント・ヴィクトワール山 ⑦	ポール・セザンヌ
	サント・ヴィクトワール山 ⑧	ポール・セザンヌ
デザインや工芸 で学ぶこと p.62-63	浄法寺塗	
	環境配慮型住宅団地	
	SDG s ロゴ	
ピクトグラムと サイン計画 p.64-65	羽田空港	
	成田空港	
	東京 2020 オリンピック ピクトグラム	廣村正彰
	国立競技場に設置された 競技施設の案内表示	
	フードピクト	菊池信孝
ポスターで伝え る p.66-67	Nihon Buyo	田中一光
	ヒロシマアピールズ 2019 希望	澁谷克彦
	1964年東京オリンピック 第2号ポスター	亀倉雄策
	ポスター美術館	レイモン・サヴィニャック
	Japon-Joconde	福田繁雄
錯視の効果を 生かして p.68-69	ウエスト・サイド・ ストーリー	イシュトヴァーン・オ ロス
	錯視を使ったサイン	
	視覚伝達	服部一成

題材名	作品名等	作者名等
誰にでもわかり やすく伝える p.70-71	インフォメーショングラ フィックス 「アニマルキングダム」	ニコラス・ブレックマ ン
	絵本 「このあとどうしちゃう」	ヨシタケシンスケ
	リアルサイズ古代生物図 鑑 古生代編	
	道路景観マップ 「町田の景観」	垣内貞夫
パッケージで 魅力を伝える p.72-73	花を贈る封筒	中野大介
	グミのパッケージ	関本明子
	羊羹のパッケージ	石本藤雄
本の形で 表現しよう p.74-75	花を贈る封筒	中野大介
	グミのパッケージ	関本明子
安心と安全の デザイン p.76-77	羊羹のパッケージ	石本藤雄
	布巾のパッケージ	
	幼児のための絵本 (5点)	ブルーノ・ムナーリ
空間を快適に 生き生きと p.78-79	MEET CORORS (どんな色) 3点	駒形克己
	津波浸水深サイン 「浸水どうぶつものさし」	増永明子
	地震防災マニュアル	文京学院大学
明かりの形 p.80-81	携帯電話ブース	
	防犯ブザー	
	こども歯科クリニックの 診察室	平野由記
	小児科クリニックの 受付と待合室	平野由記
型から生まれる 形 p.82-83	工場の祭典	
	A K A R I	イサム・ノグチ
	波 akari	益田大祐
織る、編む、 組む p.84-85	山鹿灯籠まつり	
	万燈籠	
	秋田竿燈まつり	
	黄色地松皮菱菊藤菊流水 菖蒲文様紅型木綿衾衣装 ルウンペ	
木でつくる 遊びの形 p.86-87	色絵龍田川図向付	尾形乾山
	Connection-過去、 現在そして未来へ	四代田辺竹雲斎
	和服に用いる帯締め	
	竹かご	
	藍胎漆器のお盆	
	上田紬	小岩井カリナ
木でつくる 遊びの形 p.86-87	メリーゴーラウンド	
	ロボットウォーカー ワゴン	高田哲司
	Koroconte	馬場拓也
	木工ろくろ	
	八女和ごま	
岩美の木彫り十二支		
土湯こけし		

題材名	作品名等	作者名等
生活に生きる 伝統工芸 p.88-89	漆の箸と匙	
	若狭塗箸	
	ティーポット	橋本夕紀夫
	伝統的な高岡の鉄瓶	
	曲げわっぱ	
	ランプシェード	谷俊幸
伝統と創造 p.90-91	色絵薄墨墨はじき雪文鉢	十四代今泉今右衛門
	色絵宝尽くし文八角皿	十四代今泉今右衛門
	Premonition	青木克世
	更紗蒔絵十字架	北村辰夫
	南蛮夢想	中村信喬
	茶坑	桑田卓郎
美術の力を生かして社会と関わる p.92-93	チーム環ロゴマーク	
ゲルニカで伝え たかったこと p.94-95	ゲルニカ	パブロ・ピカソ
	ゲルニカのデッサン ②	パブロ・ピカソ
	馬のデッサン	パブロ・ピカソ
	ゲルニカのデッサン ④	パブロ・ピカソ
	ゲルニカのデッサン ⑤	パブロ・ピカソ
美術で世界と 向き合う p.96-101	誕生	池田学
	ポウルを持つデーモン	ダミアン・ハースト
	デーモンの頭	ダミアン・ハースト
	ヒドラとカーリー	ダミアン・ハースト
リノベーション、 使い続ける工夫 p.102-103	Weather Project	オラファー・エリアソン
	オルセー美術館中央ホール	
	アーツ前橋	
	銭湯をリノベーションしたカフェ	
	ふじのくに地球環境史ミュージアム	
	都市交流施設・道の駅保田小学校	
私たちの社会と 美術 p.104-105	赤倉の学堂	ナウイン・ラワンチャイクン、ナウインプロダクション
	Harmless Kitty	奈良美智
	祈り	木下晋
	JURIX WORKS	伊藤樹里
	向き合って	JR
奥行き表現 p.106	サンノワの通り	モーリス・ユトリロ
	ローマ、フィリナーレ宮殿の広場	ジョヴァンニ・アントニオ・カナレット
	ヴァッツマン山	カスパー・ダーヴィト・フリードリッヒ
	ナポリの家	トマス・ジョーンズ
	飛鳥の春の額田王	安田靫彦

題材名	作品名等	作者名等
版画の種類 p.107	初夏の風	川上澄生
	領土	清原啓子
	ディヴァン・ジャポネ	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
映像メディアを 活用する p.111	絶滅危惧種：シベリアンタイガー	アンディー・ウォーホル
	サン・ラザール駅裏、パリ	アンリ・カルティエ=ブレッソン
	ロボット家族(お父さん、お母さん)	ナム・ジュン・ピイク
	写真集「川はゆく」より	藤岡亜弥
	京都・二条城へのプロジェクションマッピング	NAKED
漫画の試み p.112	アタゴオル物語	ますむらひろし
	ちびまる子ちゃん	さくらももこ
	ジョジョの奇妙な冒険	荒木飛呂彦
	弱虫ペダル	渡辺航
	ハチミツとクローバー	羽海野チカ
	ダイヤのA	寺嶋裕二
	パタリロ!	魔夜峰央
アニメーション の技法 p.113	火の鳥	手塚治虫
	君の名は。	
	ひつじのショーン	
共に学ぶ美術 p.114-115	びじゅチューン	井上涼
	のもぞき砂浜 Tシャツアート展	
	ハッピー・ハッピー(さいたまトリエンナーレ 2016 での展示)	チェ・ジョンファ
	アートクラブグランプリ in SAKAI	
	1万人で描こう、みんなの手で熊本城	
日本の伝統色と 配色文化 p.116-117	和菓子	
	東京スカイツリーロゴマーク	
	鬱金輪子地菊枝段替模様 友禅染絞小袖	
	三代目大谷鬼次の 奴江戸兵衛	東洲斎写楽
	伝統色を使ったランドセル	
美術の歴史と 交流 p.118-122	伝統色を使ったタクシー	
	中空土偶	
	台付壺型土器	
	大仙陵古墳	
	木造弥勒菩薩半跏思惟像	
	エジプトの三大ピラミッド	
	ネフェルティティ像	
	パルテノン神殿	
	兵馬俑	
	ミロのビーナス	
	コロッセウム	

題材名	作品名等	作者名等
美術の歴史と 交流 p.118-122	菩薩立像	
	雲崗石窟第 20 窟本尊如来坐像	
	高松塚古墳壁画	
	螺鈿紫檀五弦琵琶	
	阿修羅像	
	平等院鳳凰堂	
	北野天神絵巻	
	皇妃テオドラと従者たち	
	石窟庵如来坐像	
	ピサ大聖堂	
	アンコール・ワット	
	シャルトル大聖堂のステンドグラス	
	風雨山水図	馬遠
	マエスタ	ドゥッチョ
	首里城	
	秋冬山水図・秋景図	雪舟等楊
	桜図	長谷川久蔵
	風俗図(彦根屏風)	
	見返り美人図	菱川師宣
	色絵花鳥文大深鉢	
	善女龍王立像	円空
	青花蓮池魚藻文壺	
	ヴィーナスの誕生	サンドロ・ボッティチェリ
	ダヴィデ像	ミケランジェロ・ブオナローティ
	モナ・リザ	レオナルド・ダ・ヴィンチ
	タージ・マハル	
	夜警	レンブラント・ファン・レイン
	ヴェルサイユ宮殿 鏡の間	
	白泥染付金彩薄文蓋物	尾形乾山
	雪松図屏風	円山応挙
	不忍池図	小田野直武
	五十三次名所図会 石葉師 義経さくら 範頼の祠	歌川広重
	夜桜美人図	葛飾応為
青花秋草文壺		
色絵磁器花鳥文蓋付壺		
民衆を導く自由の女神	ウジェーヌ・ドラクロワ	
印象・日の出	クロード・モネ	
サグラダファミリア教会	アントニ・ガウディ	
タンギー爺さん	フィンセント・ファン・ゴッホ	
アレアレア	ポール・ゴーギャン	
トンボの精	ルネ・ラリック	
湖畔	黒田清輝	
群青富士	横山大観	

題材名	作品名等	作者名等
美術の歴史と 交流 p.118-122	海	古賀春江
	序の舞	上村松園
	ベジタブル・ウエポン	小沢剛
	ガラスのピラミッド	イサム・ノグチ
	コンポジションⅦ	ヴァシリイ・カンディンスキー
	泉	マルセル・デュシャン
	博学な樹	ルネ・マグリット
	歩く人	アルベルト・ジャコメッティ
	ヘア・リボンの少女	ロイ・リキテンスタイン
	STRIP	ゲルハルト・リヒター
未来に向かって p.123	あたらしい朝の舟	幸田千依